



関西支部報

<http://jac.or.jp/kns/>

関西支部設立90周年事業(番外編)

水谷 透

2025年度の全国支部懇談会を関西支部にて開催することが、本部の支部事業委員会において承認されました。関西支部では2025年に支部設立90周年を迎えますので、90周年記念式典と全国支部懇談会を併催することにいたします。

全国支部懇談会は全国にある33支部が毎年交代で開催しており、全国から会員が集い、概ね1泊2日で講演、懇親会、記念山行などが行われます。2019年度の第35回全国支部懇談会は栃木支部主管で、日光を会場に開催されました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、この3年(2020~22年)は中止となりました。来年度は群馬支

部が谷川岳山麓を会場として開催する予定です。

関西支部では1994年10月にハチ高原で開催し、131名が集いました。加藤文太郎についての講演、氷ノ山登山、加藤文太郎記念図書館や植村直己冒険館を巡る観光などが実施されました。

90周年記念事業の式典内容、全国支部懇談会の日時・会場等の詳細は決まっておられません。関西支部会員のお知恵も拝借して準備・計画し、全国各支部からの会員を迎えようではありませんか。

支部会員諸氏のご協力よろしくお願い致します。

第30回 藤木祭

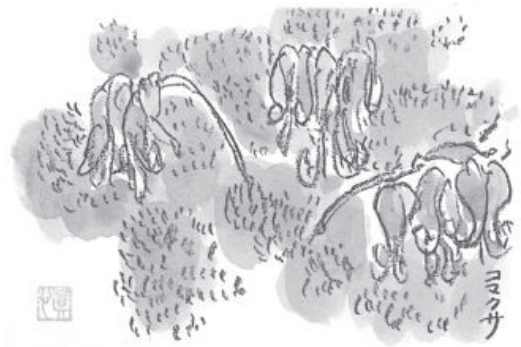
山の日関連行事

日時：9月25日(日) 午後1時~(雨天決行)

会場：芦屋・高座の滝前広場

主催：日本山岳会関西支部・大阪府山岳連盟・兵庫県山岳連盟

後援：芦屋市・近畿地区山岳連盟



目次

関西支部設立90周年事業(番外編)

水谷 透 …… 1

支部山行報告 …… 2

1 支部山行報告 …… 2

▽金勝アルプス▽三重嶽▽武奈ヶ

嶽▽布見竜王山▽甲山▽石丁場跡

▽六甲山▽紀泉アルプス▽猪ノ口

山▽須磨アルプス▽弁天岳▽六甲

山▽白川又谷▽飯盛山▽新龍アル

プス▽六甲▽蓬萊峽

2 山岳古道調査 …… 9

▽蔵王峠▽紀見峠▽塞ノ神▽葛城

神社・柱本第18経塚▽小峯寺▽千

早峠

3 ヒマラヤ登山塾 …… 11

4 自然保護委員会活動報告 …… 13

会務報告 …… 14

スケッチ同好会 …… 14

山行委員会行事案内(10月~12月) …… 15

自然保護行事案内(10~12月) …… 17

編集後記 …… 18

支部山行報告

1. 支部山行報告

支部山行22-1 第7回関西のアルプス踏査
「金勝アルプス」

山本義博

4月10日(日)晴

JR琵琶湖線草津駅8時発のバスに乗りし終点の上桐生には予定より早く到着した。バスには我々以外の乗客は少なかったが、気温は高めであり天気も良くハイキング日和のせいもあるのか、出発点となる駐車場にはたくさんの車があり、結構な人出の様子であった。

今日のコースは稜線に巨岩、奇岩があり、また、岩に彫られた磨崖仏、オランダ堰堤など見どころも多いと案内書にもあり、どんな景色が観れるのかと思いつながら、暑さ対策をとり、定刻より早めに出発した。

最初のビューポイントである落ヶ滝は、水量は思ったほど多くなく細く長く滑り落ちる滝であった。その後、鶏冠山を目指すが、縦走路分岐からはかなりの急登で、頂上はあまり展望もなく、次のポイントである天狗岩を目指した。

縦走路分岐を過ぎると景色が広がり、琵琶湖、近江富士など絶景が見られた。天狗岩では、小さな子供が混じったグループもあり、岩から降りるのに時間がかかることもあったが、ここからの景色は十分なものであった。

縦走路に戻ったところで昼食休憩を取り、白石峰を通り、本日の最高峰である竜王山を目指した。頂上まではそれほど急な登りではなく、途中、天狗岩のような奇岩・巨岩群通過し、遠くに栗東の競馬馬トレーニングセンターを見ながら頂上に着いた。

竜王山からは白石峰まで引き返す。上りのコースとは異なり、狛ヶ磨崖仏、狛ヶ寺跡、逆さ観音、オランダ堰堤を通り下山した。途中、磨崖仏を過ぎるあたりまでは階段の下りが多かったが、出合からは林道を快適に歩けた。最終地点近くの堰堤を過ぎたあたりで多くのグループがバーベキューを楽しんでいる光景も見られた。出発した駐車場には予定より早く到着し、1時間早いバスに乗り、無事JR草津駅にて解散した。

今回「関西のアルプス踏査」に初めて参加したが、天候に恵まれ、コロナも少し落ち着いた中での踏査で楽しい一日を皆様と過ごせたと感謝しております。



天狗岩の景観 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

上桐生BS8:30～8:58落ヶ滝～9:55鶏冠山～11:13天狗岩～12:36竜王山～13:50狛ヶ磨崖仏～14:11出合～15:19上桐生BS

【参加者】

黒田記代、野村康、深澤優子、前田正彰、山本義博、吉井修(首都圏) 計6名

支部山行22-4 雪稜シリーズ⑦
「三重嶽 武奈ヶ嶽」

松仲史朗

4月16日(土)曇

久しぶりのテント泊を非常に楽しみにしていた。

集合場所の近江今津駅からタクシーで石田川ダム駐車場へ。駐車場手前では数十本の満開の桜が出迎えていた。まず、分水嶺縦走合流点石田川ダム分岐を目指す。

駐車場を出発し、武奈ヶ嶽登山口の標識が見えた。分かりやすく、登りやすい林道だ。中間点付近P630に一本の木がある。見上げると、タムシバの真っ白な美しい花が満開。ほっとする。テント装備を背負って疲れ気味だ。イワカガミ、イワウチワを眺めながら急勾配の林道を延々と歩いて、やっと石田川ダム分岐に到着。

その後、武奈ヶ嶽に行く予定だったが、テント設営地を探す。北に進み、300m先にテント設営と雪を融かして水を確保ができる、平坦地があった。時間はたっぷりある。登山技術の指導を受け、寝転がって空を眺めたり、楽しく雑談したり。夜空は薄雲のかかったほのかに光る月。機会があれば再度テント泊をしたい。これが最後のテント泊山行になるだろう。

4月17日(日)晴

朝日がテントに差し込み眩しくて目が覚めた。きれいなご来光を望む。いつ見ても心が癒される。

三重嶽(さんじょうたけ)と、折り返して武奈ヶ嶽を目指す。比良山系にも武奈ヶ岳があるが、「だけ」の漢字が異なっているだけ。稜線にはシャクナゲとユズリハ。振り返ると小浜湾が見える。三重嶽分岐の株立ちのブナを通過。雪渓も残る三重嶽に着く。伊吹山、霊仙山、竹生島を望む。

折り返して武奈ヶ嶽を目指す。軽やかな足取りで、小さなピークをいくつか越し、快適なブナ林が続く。北北西に綺麗な三角形の若狭富士の名で親しまれている青葉山が薄っすら見える。

武奈ヶ嶽に到着。予定を変更し高島トレールと別れてP749から近江杉山バス停を目指す。P749からは琵琶湖と日本海の素晴らしい絶景だ。長い尾根道を延々と歩いて下山したという感じで、やっと無事山行を終えた。バスに乗り、近江今津駅に到着後、家路につく。

【コースタイム】

16日 石田川ダム11:08~11:14三重武奈登山口~13:20石田川ダム分岐~13:40テント設営地809m

17日 テント設営地6:39~7:41水谷分かれ~8:16三重嶽973.9m~10:53水谷分かれ~13:33武奈ヶ嶽865m~14:10P749~16:20近江杉山バス停

【参加者】

江村俊也 深澤優子 松仲史朗 計3名



雪後の三重嶽 写真撮影：松仲史朗

支部山行22-5 ゆるやか山行
「布見竜王山368m」

黒田記代

4月21日(木)曇後小雨

西谷の森公園口バス停で降車し、東の谷管理棟前広場へ移動。準備体操をして歩行開始する。峠の東屋から馬の背を通り展望台を経て、布見竜王山へ。山頂には少し大きな東屋があり、その中に祠が収められていた。集合写真を撮り六角東屋へ向かう。ここで昼食。出発間際に小雨が降り出したので雨具を着込む。丸山湿原の中を通り四等三角点・丸山を経て風吹岩へ。集合写真を撮り、東山橋を経てJR道場駅に向った。

丸山・三角点から風吹岩周辺は細い枝道が多く、踏み跡も薄く分かりづらかった。

【コースタイム】

JR武田尾駅前バス停9:05~東の谷管理棟前広場9:38~10:39布見竜王山~11:15六角東屋11:41~12:45丸山湿原入口~13:27風吹岩~14:49JR道場駅

【参加者】

久保和恵、山内幸子、黒田記代、黒田守彦、坂口和子、橋本圭之輔、広瀬健三、前田正彰、森沢義信、山下政一、魚津清和、青木昭、池尻英明、金川清弘、黒岩敦子、高木知子、田頭夏子、淡野隆久、中田栄、播戸日出夫、横山規江、(会員外)1 計22名



布見竜王山にある祠 写真提供：前田正彰

支部山行22-6 月例会(4月)
「甲山八十八ヶ所巡り・ボルダリング発祥の地・石丁場跡」

坂本明子

4月23日(土)晴

阪急仁川駅に集合し地すべり資料館へと向かう。資料

館右手の公園内に慰霊碑があり手を合わせる。準備体操後、出発する。県立甲山森林公園では芝桜が綺麗に咲いていた。大阪城石垣石丁場跡、東六甲石丁場跡では矢穴(石を切断するために連続する穴を掘り、そこに楔を打ち込んで石を割るための穴)がある石材が数多く残されている。展望広場からは甲山が見えていた。

甲山八十八ヶ寺巡りは写真を撮りながら神呪寺まで足早に向かう。甲山山頂まで高い段差の階段が続き息が上がる。中腹に頼朝之塚がひっそりと佇んでいる。山頂で昼食をとり記念撮影後、北山貯水池をぬけ北山公園ボルダリングエリアへ向かう。北山公園ボルダリングエリアは日本のボルダリング発祥の地の一つとされている。巨岩に登った跡が数多く残されていた。休憩時に黒田さんからイチゴの差し入れがあり美味しく頂く。かなり汗をかいていたので元気が出てくる。北山緑地公園では庭園を眺めながらお抹茶と和菓子を頂いた。丁度、曲水の宴が行われるとの事で平安時代の衣装を纏った人達が準備をしていた。

その後ごろごろ岳へ向かう。所説あるが、阪神淡路大震災前の標高が565.6mであった事からごろごろ岳と名付けられたそうだ。下山は前山公園コースを通ったがアップダウンがありきつかった。近代建築の三大巨匠の一人として数えられているフランク・ロイド・ライト設計の旧山邑邸を帰りに眺め、阪急芦屋川駅へ到着する。

予定時間を1時間ほどオーバーしたが、天候にも恵まれ歴史にもふれる事もでき、見所いっぱいの楽しい山行であった。



甲山八十八ヶ寺巡り 写真提供：野村 康

【コースタイム】

阪急仁川駅8:50～9:38石丁場跡～10:28甲山八十八ヶ寺巡り～11:25神呪寺～11:52甲山～12:30北山貯水池～15:24ごろごろ岳～17:38阪急芦屋川駅

【参加者】

野村康、黒田記代、永井和、深澤優子、坂本明子

支部山行22-9 六甲山を歩く 「えっ!! こんな山あったん!？」

深澤優子

5月7日(土)快晴

地下鉄県庁前に集合。地下鉄の階段を上がると眩い初夏の日差しだった。諏訪山公園で、身支度を整え、体操。その後、アスファルトの道を歩き始める。

右手に山手女子大を見ながら、川に沿ってアスファルトの急坂を登る。登りつめたところに再度山観音の石碑があり、反対側に燈籠茶屋があった。「この炭火焼きトーストは絶品だ」との声が聞こえてくる。このあたりから道は登山道となった。相変わらず登り坂が続く。川沿いに緑のもみじが美しい。「ここは隠れ紅葉の名所ですよ」とこのあたりに詳しい方からの声。ぜひ、秋に訪れたいものだ。

もみじのトンネルを超えて猩々池に到着。池の周りの新緑が美しい。しばし、休憩後、大龍寺に到着。本殿で皆さんお参りを済ませた後、奥の院に向かう。奥の院から、急峻な登山道を登る。山頂近くに亀石があった。汗をかきかき、再度山山頂(470m)に到着した。山頂からは神戸の街が見下ろせる。お天気がよかったので大阪湾が一望できた。

大龍寺に戻り、昼食。市ヶ原方向に下る。途中で高雄山登山口があった。さっきの再度山よりさらに急峻な登山道を歩き、高雄山(476.5m)山頂に到着。分水嶺越林道に下山後、森林管理道を森林植物園方面に歩き、ヌケ谷分岐で休憩。帰路をどう歩くか話し合った結果、森林植物園を通り、下山ということになった。

森林植物園東口から入る。広い敷地に多くの珍しい植物があり、美しい花が咲き乱れていた。長谷池で記念撮影。出口に向かうあたりにハンカチの木があった。本当にハンカチのような白い花が背の高い木に咲いていた。

森林植物園前バス停から、北鈴蘭台方面行と三宮方面行に分かれて解散となった。五月晴れの中新緑を歩く山行だった。

【コースタイム】

県庁前9:10～9:25諏訪山公園～9:47燈籠茶屋～10:19猩々池～10:43大龍寺～11:10再度山～12:55高雄山～14:45森林植物園東口～15:28森林植物園前バス停

【参加者】

松仲史朗、前田正彰、山本義博、久保和恵、淡野隆久、



森林植物園 写真提供：前田正彰

黒田記代、深澤優子、橋本圭之輔、青木昭、横山規江、
新本政子、野村康 計12名

**支部山行22-10 第8回関西のアルプス踏査
「紀泉アルプス」**

黒田記代

5月15日(日)曇

コースタイム8時間40分(休憩なし)の長時間山行となる事から、約1時間毎に5~10分の休憩を取るが、昼食休憩の時間を取らない事を参加者に伝える。各自、休憩時に適宜の飲食をお願いして出発する。

雲山峰から飯森山に至るルートは山岳古道調査(第3回、第4回)で通過済のエリアであったのでスムーズに歩く。山中溪駅から雲山峰へのアプローチと飯森山からみさきこうえん駅への下山ルートが新しく歩くルートとなった。

下山時間が18時頃の予定で、5月であれば19時頃までは明るくヘッドランプ無しで歩けると考え、さわやかな季節の5月に計画を立てた。

霧雨の中の歩き始めであったがすぐに雨はあがり、曇り空の踏査となり、長時間の歩行にとって都合の良い天



飯森山山頂で休憩 写真提供：永井 和

気だった。終了点の「みさきこうえん駅」に到着した頃に雨が降り出した。

【コースタイム】

山中溪駅8:32~11:10雲山峰~12:55大福山~14:28札立山
~15:55飯森山~17:46みさきこうえん駅

【参加者】

岩崎しのぶ、黒田記代、坂本明子、重廣恒夫、永井和、
野村康、前田正彰 計7名

**支部山行22-11 ゆるやか山行 歴史と文化を訪ねて
「黒井城跡(猪ノ口山356m)」**

助川 征

5月19日(木)晴

JR三ノ宮から皆に会えるまでのアプローチは長かったが、田植えも終わった濃緑色豊かな兵庫丹波の山々や田園風景を車窓から楽しみ、心も和み、これが「ゆるやか山行」なのだと自覚する。

JR黒井駅着。目の前に急峻な猪ノ口山「黒井城跡」が迫る。まず黒井城の下屋敷「現興禅寺」見学。ここは徳川三代将軍「家光」の乳母お福(春日局)の生誕地でもある。黒井城跡へは寺の背後から階段状の急登から始まった。事前案内では「頂上まで40分の登り」とあり、物足りないはずだったが、「こりゃ、ゆるやかではないわ!」との悲鳴も聞こえてくる。我らは戦国時代の武士には到底及ばず(笑)。

本丸跡まで残り400m、200mの標識に励まされる。城山らしく植生に矢竹が多い。複数の曲輪跡を経て山頂本丸跡に到着。「保月城跡(黒井城の別称)」の記念碑、三等三角点(点名城山)があり、視界は東西南北が見渡せエベレストに立った気分。長い昼食時間を利用し、丹波要衝の地を見渡しなが歴史に浸り、ひとり夢を開始した。記念撮影後、ゆるやかコースの下山道を取り登山口に戻った。

黒井城跡は低山でも魅力は最高。ひとも蝶も、追い立てた動物もまた集まってくる感。黒井駅に全員無事たどり着き帰路についた。

【コースタイム】

黒井駅10:10~10:24興禅寺~11:45山頂12:30~14:29黒井駅

【参加者】

久保和恵、山内幸子、黒田記代、新本政子、内田嘉弘、
内田昌子、浦上芳啓、坂口和子、助川征 橋本圭之輔、
廣瀬健三、前田正彰、松村文子、山崎詮、山下政一、青
木昭、池尻英明、金川清弘、黒岩敦子、小林三喜男、田

頭夏子、田中アキエ、淡野隆久、中田栄、播戸日出生、
横山規江 計26名



本丸跡は視界 360 度 写真提供：前田正彰

支部山行22-13 月例会(5月) 「須磨アルプス」

宇都宮 浩

5月22日(日)晴

六甲縦走路を須磨アルプスから鶴駅までのコースを歩く。須磨浦公園駅改札口を出るとロープウェイ乗場が目の前にあり遊園地が山上にある。

まずは目の前の鉢伏山へ階段の連続を上り標識通りに進む。次の旗振山へも階段の連続で山頂からは明石大橋が望めた。鉄拐山へは自然林の中の登山道でなだらかな道を気持ちよく歩く。次の高倉台は住宅街でレストランもある。六甲縦走路も開発で大きな道路ができ、道路の上に架かる陸橋を歩くと都会と自然を感じながらの登山となった。

須磨の海岸を見ながら、昔、須磨にある会社の研修所に泊まったのを思い出した。確か源平合戦の一の谷近くだったと思う。気温も上がりペットボトルの水を飲みな



須磨アルプス・馬の背 写真提供：永井 和

がら横尾山へ。階段の連続でやっと山頂。ここでお昼ご飯に。神戸市街地の景色を見ながらカップラーメンとおにぎりを食べる。ボーイスカウトの子供達と一緒にになった。

須磨アルプスを目指す。やがて地質が変わり、「風化しているので注意」の表示に惑わされ、途中の分かれ道で登山道から外れてしまい地図確認が必要と自覚する。

須磨アルプスの景色が見たくての参加。10年前、六甲縦走トレイルで雨の中を走った。ほとんど雲の中だったが、この景色だけは良く覚えていた。馬の背を歩きながら晴天のもとで見る景色に感動した。

六甲縦走路標識と地図を確認しながら、源平合戦を思い浮かべつつ市街地へ下りて高取山へ。山頂に神社があり景色も良い。下った所の鶴駅も六甲縦走路上で、丁度良い時間のゴールとなった。

【コースタイム】

須磨浦公園駅8:59～9:40旗振山～11:20横尾山～14:07高取山～15:39鶴越駅

【参加者】

黒田記代、宇都宮 浩、永井 和

計3名

支部山行22-15 沢登り例会 「不動谷川支流弁天谷」

坂本明子

5月29日(日)曇時々晴

晴天で気温もちょうど良く絶好の沢登り日和となった。高野線紀伊細川駅に集合し弁天谷に向けて出発する。

新緑も綺麗で川の流れる音を聞きながら準備体操する。最初から小さな滝の連続で水が冷たく気持ちが良い。岩場はとても滑りやすく傾斜のない所でも何度もこけそうになった。倒木が多く2回ほど派手にこけてしまい、ずぶ濡れになってしまった。大滝は水の流が速く岩も滑るため、登攀に苦労した。「前の人の登り方を見ておくと参考になるよ」「ロープ掴んだらあかんよ～！」などいろいろアドバイスを頂いたが、足元が滑ってしまいバランスが取れずとっさにロープを掴んでしまった。体力が続かずくたくたになっていたが、その後も滝の連続で楽しめた。

藪漕ぎし堰堤を越え、少し登るとようやく弁天岳に到着した。女人堂の横で着替えを済ませ、高野山駅へ下山する。

ビレイの方法、カラビナの使い方、登攀時の足のかけ方、岩場の歩き方、ロープの結び方など覚えなくてははい

けない事が山ほどある。荷物が重くなる分、体力作りも必要だ。沢登りは危険も伴うため経験を積みながら地道に技術を習得していきたいと思う。またぜひ行きたいと思える楽しい沢登りであった。



弁天谷 写真提供：中久保忠伸

【コースタイム】

南海高野線紀伊細川駅8:52～入渓9:30～大滝10:30～道路14:10～弁天岳14:30～高野山駅15:00

【参加者】

坂本明子、柴田美生子、立野里織、豊田哲也、中久保忠伸 計5名

支部山行22-16 沢登り例会(6月)
「六甲山 布引谷支流地蔵谷」

鷺本晴香

6月4日(土)晴

新神戸駅からわずか5分程度で布引の滝雄滝に到着。登山者や観光客で人も多く、名所らしさを感じる。滝を見る、どこから取りつこうかと妄想するのが楽しい。茂木さんが以前にここで発見した一般の方の亡骸のお話をされるが、六甲ならではの、街と山の近さを痛感する。

軽快に足を進めるが、みはらし展望台～布引貯水池まで遊歩道が通行止めのため迂回、車道を歩いて布引谷方面へ向かう。途中、オニヤンマの虫よけブローチを道端で販売している方がいらして、我が山岳会のメンバーも購入多数であった。実際に虫よけできるのかは、購入者にご確認ください。

地蔵谷出合より入渓するが、沢筋も開けており水量も少なく水遊びのように前進。最初に出てきた3mの小滝、最初は少し水際をトラバースして滝横を直上する。最初からドボンするのもモチベーションが下がるので各自、真剣な様子であった。

六甲は堰堤が多く、ここ地蔵谷も堰堤が数多く出現して、高巻きのような面持ちであるが人がよく入っているため踏み後は明瞭である。

沢筋は小さな滑滝が数多く、小さなアトラクションは私たちを楽しませてくれた。今回のハイライトは二段大滝(10m+滑10m)で唯一ロープをだし、トップに豊田さんが挑んでいただいたお陰で後続者は快適な登攀となった。見た目は簡単だが二段目の滑が、手掛かりなく膝を使ったスメアリングでヌルヌルの攻略となった。

滝を上がると滑と堰堤が続き、ほどなくして脱渓となった。空を見上げながら天狗尾根にたどり着き摩耶山ロープウェイ前にて解散。希望者は王子公園まで仁王門跡や、石積みの階段がある上野道と言われる古道を歩き王子公園駅に到着した。

遠い山や高い山もいいが身近な山を知ること、私は大切にしたいと思っている。

【コースタイム】

新神戸9:00～9:06布引の滝～10:25地蔵谷出合～11:30二段大滝12:05～14:30摩耶山ロープウェイ前～15:50阪急王子公園駅

【参加者】

茂木完治、豊田哲也、中久保忠伸、小黑節郎、井川浩彰、中村三佳、鷺本晴香 計7名

支部山行22-17 月例会(6月)
「白川又谷キャニオニング体験」白川又谷

柴田美生子

6月12日(日)晴

青空ファンによるガイド付きツアーでキャニオニング体験をした。まだ少し水が冷たいということで準備されたウエットスーツにベストや短パンを重ね着し万全の装備で挑んだ。

入渓点にてガイドより注意点を聞く。そこから2つ程滝を登り水に浮かび空を仰ぐ。木々の隙間から青空が覗く最高のコンディション。「これからキャニオニングの始まりです」と女性ガイドの合図とともに水に浮かび緩やかな水流に身を任せて下っていく。数メートルの滝を滑り、釜へ飛び込み、いよいよこの日のメイン白川又最大10メートルの滝へ。最初は中段から滑る。釜へ飛び出す時一瞬浮遊感を感じ着水するとすぐに水に押し流され目の前には大きな岩それを避け右へ向かって泳ぐ。この感覚に魅了され上段にもチャレンジ。その後緩やかな水に流され終了点へ到着。日々のストレスが水の中に溶け流

されるような感覚を感じる一日となった。

【コースタイム】

13:00入渓点～15:00終了

【参加者】

茂木完治、中久保忠伸、深澤優子、柴田美生子、(会員外2) 計6名

支部山行22-18 ゆるやか山行 歴史と文化をたずねて 「飯盛山315.9m」

高木知子

6月16日(木)曇

飯盛山は大東市と四条畷市にまたがる生駒山地北西部にあります。四条畷駅を9時半出発。楠木正成が、息子(正行)に今世の別れを告げながら短刀を手渡す「桜井の別れ」を表した父子像がある荘厳な四条畷神社境内で準備体操後、一路飯盛山に向かう。飯盛山が山城だった事からも分かるように、山頂まではかなりの急坂でした。権現の滝でひと涼み。湿生花園、堂尾池へと続く水の流れると植生に富んだ楽しいルートでした。

四条畷在住の黒田守彦様が史跡案内をして下さり感謝です。



史跡飯盛山の説明に聞き入る 写真提供：青木 昭

【コースタイム】

四条畷駅9:30～10:07四条畷神社境内～11:25飯盛山12:04～13:49中堤14:01～15:30戒公園バス停

【参加者】

久保和恵、山内幸子、黒田記代、新本政子、上田典子、内田嘉弘、内田昌子、黒田守彦、坂口和子、橋本圭之輔、前田正彰、山崎詮、山下政一、魚津清和、福山茂光、八田吉子、青木昭、池尻英明、黒岩敦子、高木知子、田頭夏子、田中アキエ、淡野隆久、中田栄、播戸日出生、横山規江 計26名

支部山行22-20 第9回関西のアルプス踏査 「新龍アルプス」

野村 康

6月19日(日)晴

新龍アルプスは、たつの市の鶏籠山、両見坂、的場山から亀山に続く山容の眺めが寝釈迦に見える縦走路である。これらの山々を縦走後揖保川に下り、髯崎ノ屏風岩を経て鶴嘴山に登った。

本竜野駅から揖保川を渡り、播磨の小京都と言われる龍野の町並みを歩き、龍野城(復元された平山城)でストレッチを行う。500年前に築かれた龍野山城跡があり、鶏の伏せ籠に似た山容から名付けられた鶏籠山(218m)に登る。大きな石灯籠のある両見坂からの的場山(394m)への登りは急で、三角点(382.6m)まで歩く。あまりの暑さに亀山までの縦走を断念し、送電線に沿って一旦、栗栖川まで急な巡視道を下る。

かつては寝釈迦の渡しがあった揖保川の髯崎橋を渡り、1354年に彫られた髯崎磨崖仏を拝み、古宮天満神社前で休憩。髯崎ノ屏風岩(8世紀の風土記に載っている天然記念物)の急登を登り寝釈迦を確認することができた。タイコ岩を経て鶴嘴山(263m)まで縦走。下山は急な岩場から野森稲荷神社に下り、東髯崎駅に向かった。今回の山行は、累積標高差は650m程だが、登りも下りも急で、アルプスの縦走を堪能できた。龍野の町並み、童謡赤とんぼ作詞者の三木露風生家、醤油の郷、龍野歴史文化資料館等を巡り、髯崎ノ屏風岩から寝釈迦を見るだけでもお薦めのコースです。



揖保川と寝釈迦の展望 写真提供：重廣恒夫

【コースタイム】

本竜野駅9:40～10:05龍野城～10:57両見坂～11:51的場山12:23～12:52 382m三角点～13:54栗栖川～15:08古宮神社～15:45屏風岩～16:38鶴嘴山～18:02東髯崎駅

【参加者】

重廣恒夫、坂本明子、薦田佳一、前田正彰、久保和恵、
新本政子、岩崎しのぶ、永井和、黒田記代、深澤優子、
野村康 計11名

支部山行22-21 クライミング初級
「六甲・蓬莱峡」

黒田記代

6月23日(木)晴

【参加者】

江村俊也、黒田記代、中村三佳、吉村恵理 計4名

2. 山岳古道調査

支部山行22-3 第10回山岳古道調査
「葛城修験の道」南葛城山鏡の宿第14経塚
と天見不動尊第17経塚

山内幸子

4月16日(土)晴

JR和歌山線妙寺駅から蔵王峠までタクシーで入り、立ち並ぶ朱塗りの鳥居をくぐり抜け、葛城蔵王権現社に参拝し、修験の里大畑に向かう。勝楽寺の前で里山の風景を見ながら体操を済ませ、府県境尾根に取りつき南葛城山に向かって歩く。途中に奉勅請善女龍王の石碑あり。

主稜線を忠実に歩き、4等三角点大畑、野谷ノ峰、桃の木ダオを越え南葛城山頂上にいたる。笹の中に道を探しながら4等葛城の三角点を往復し、頂上から東に少し歩いて第14経塚・安楽行品のある鏡の宿にいたる。トタン屋根の小屋の中に「不動明王」「善女龍王」と記された二基の石塔があり、明治時代にかつらぎ村の住民が寄進したものという。かつて大きな杉の木があったので、ここは一本杉と呼ばれている。この前で冷たい風に吹かれながら昼食をとる。

笹藪の中の4等滝畑909.3m、さらに倒木を越えて4等風吹849.2mの三角点を踏み、ダイヤモンドトレイルに合流し、3等加賀田749.4mの根古峰も踏んで、杉林の中の丸太階段を下っていく。途中に天見不動の祠がトタン屋根に守られて建っており、横に妙法蓮華経分別品第十七経塚と記された白いポールが立っていた。ここで今日の目的を果たしたが、ここから紀見峠までアップダウンがあり、さらに駅まで遠かった。



天見不動第17経塚にて 写真提供：永井 和

【コースタイム】

蔵王峠9:22～9:32勝楽寺9:54～11:06野谷ノ峰～11:20桃の木ダオ～11:44南葛城山～12:08第14経塚12:30～14:45根古峰～15:38第17経塚～16:48紀見峠～17:22紀見峠駅

【参加者】

黒田記代、永井和、新本政子、重廣恒夫、久保和恵、野村康、岩崎しのぶ、薦田佳一、中川委紀子、中久保忠伸、小黒節郎、山西和美、山内幸子 計13名

支部山行22-8 第11回山岳古道調査
「葛城修験の道」岩湧寺第15経塚従地湧出品、流谷金剛童子第16経塚如来寿量品

岩崎しのぶ

4月30日(土)晴

河内長野駅から日野・滝畑コミュニティバスに乗り滝尻下車。横谷川に沿って舗装路を南下。奥立岩のクライマーを左に仰ぎ見て、ネバシ谷分岐からは広い舗装路を行く。「岩わきのモリ 杉木立の道」分岐で林道を進むと、左に入った支尾根の先に第15経塚があった。貝殻や珊瑚が供えられている。これは修験の道が出発点の友ヶ島から続いているとの意味らしい。公式に認定されているのはこの経塚だが、東の経塚にも立ち寄る。

道路に戻って岩湧寺に向かい、急坂の道から細尾根に入ると東の経塚その1が、1つ尾根を隔てて東の経塚その2が現れた。修験の地に相応しくどちらも険しい尾根の先端に佇んでいた。

戻って工事中の岩湧寺を参拝し、新緑に囲まれた四季彩館で昼食。この辺りでオトシブミが見られるとのこと。クヌギヤクリ、ハンノキ等の葉に作られるらしいが、簡単には見つかりそうにない。

この辺りに詳しい中久保さんの案内で満開のシャクナゲを眺めながら行者の滝へと向かう。滝手前に佇む巨大な岩石の裾にお稲荷さんが祀られていた。雨乞い地藏、縁結び地藏を通り過ぎ、行司河原分岐で右折し流谷へと向かう。第16経塚は流谷集落から北に少し入った先にあった。

舗装道路を歩くこと30分で八幡神社に到着。京都石清水八幡宮の別宮だ。大イチョウ、鉄製湯釜、勧請縄かけなどから、由緒ある神宮であることが窺える。休憩後、天見駅へと向かう。



第15経塚にて 写真提供：永井 和

【コースタイム】

滝尻バス停9:55～11:22第15経塚～11:45東の経塚その1～11:53東の経塚その2～12:05岩湧寺～12:11四季彩館12:40～14:16第16経塚～14:40八幡神社15:02～15:15天見駅

【参加者】

黒田記代、永井 和、新本政子、重廣恒夫、久保和恵、野村康、深澤優子、中川委紀子、中久保忠伸、小黒節郎、岩崎しのぶ 計11名

支部山行22-12 第12回山岳古道調査
「葛城修験の道」岩瀬の経塚山第18、柱本第18経塚

薦田佳一

5月21日(土)曇

千早口駅に集合し、南河内グリーンロードを東に向う。20分程行くと道は分かれ、塞ノ神の祠に出会った。塞ノ神とは厄病や悪霊などの災いが村に入らないよう祀られる境界守護神である。オノ神谷に沿って緩やかな林道を進む。卯の花、カエルの声、鳥のさえずりに癒される。林道終点の経塚入口から山道となり、支尾根上の短い急坂の上に岩瀬経塚山第18経塚があった。確認後南に進み、

府庁山にいたる稜線に取付く。この山の名前はいったい誰がつけたのかな？ガマズミの赤い花房を見ながら山道を進むと、十字峠の標識が現れる。十字峠も通過し、ダイヤモンドトレールに向かう山道と沢道の分岐点で昼食をとった。オオルリらしき鳴き声を聞きながら、さらに進むとダイトレに出た。東にダンボ山を往復し、2等三角点を確認。一息入れてダイトレを西に進むと西ノ行者堂に出る。直ぐ裏に“西の行者堂の祠”。祠の中に役行者の石像を確認。さらに進むと階段状の下り坂となる。しばらく行くと広場に出た。歴史を感じる山の神の祠があり、その近くに力強い大木が数本。途中三角点を確認しつつ、ヤブ漕ぎして紀見峠方面に下り高野街道に合流。昔の面影を残す古家に癒された。柱本の葛城神社と極楽寺に参拝し、紀見峠駅へ向かった。

【コースタイム】

千早口駅9:01～9:20塞ノ神～10:27第18経塚～10:58府庁山～十字峠11:34～12:00三叉路12:30～12:55ダンボ山～13:17西の行者～14:10山の神～15:11柱本第18経塚～15:59紀見峠駅

【参加者】

黒田記代、永井 和、新本政子、重廣恒夫、久保和恵、野村康、岩崎しのぶ、中川委紀子、中久保忠伸、深澤優子、薦田佳一 計11名



岩瀬経塚山第18経塚にて 写真提供：永井 和

支部山行22-19 第13回山岳古道調査
「葛城修験の道」神福山第19経塚

深澤優子

6月18日(土)曇後晴

今にも雨が降りそうな天気の中、林間田園都市駅からバスに乗り、初芝橋本高校前で下車。アジサイの咲く道沿いに歩き、小峯寺の入口広場で体操。小峯寺は高野山

真言宗のお寺で、葛城根本道場との記載があった。境内から少し離れた林間の広場に石造宝篋印塔が建っていた。

小峯寺から北側の川沿いに車道を歩く。途中不動山と道案内があり、ここの巨石は日本の音風景100選に数えられているらしい。さらに歩き、交差点で左折して東覚寺に向かう。急階段の上に東覚寺はあった。本尊は薬師如来で、眼のお薬師さんとのこと。交差点まで戻り、大澤寺の看板のある十字路で左折、林道に入る。山中に珍しいコーヒー店を通り過ぎ、大澤寺に到着。ここも高野山真言宗のお寺で、薬師如来が祀られている。堂前に目洗い池があり、亀が数匹泳いでいた。ここで昼食をとる。

大澤寺横より登山道に入り、行者杉を目指す。行者杉は河内長野市、五條市、橋本市の境界にある。標高は715.5m。小さな祠があり、役行者と前鬼、後鬼が祀られていた。ここでダイヤモンドトレールに入り、神福山を目指す。山頂には土盛りされた第19経塚があり、その隣に2つの洞があった。ダイヤモンドトレールに戻り、千早峠まで進んだ。峠から五条林道を歩く。キイチゴが鈴なりになっていて、歩きながら堪能した。この道は江戸時代天誅組が駆け抜けたそう。府道706号線に出て、南海バスの金剛山ロープウェイ前に到着した。バス停にはきれいなピンクのササユリが咲いていた。



大澤寺にて 写真提供：永井 和

【コースタイム】

初芝橋本高校前8:36～8:44小峯寺9:05～9:52東覚寺～11:06
大澤寺11:35～12:40行者杉～13:20第19経塚13:41～13:57
千早峠～14:49金剛山ロープウェイ前バス停

【参加者】

黒田記代、永井 和、新本政子、久保和恵、野村 康、岩崎しのぶ、中川委紀子、山内幸子、中久保忠伸、深沢優子、薦田佳一、山西和美、辻 和雄 計13名

3. ヒマラヤ登山塾

ヒマラヤ登山塾映像編 (I)

「1976年 ナンダ・デヴィ縦走」
「1977年 K2 (106日間の群像)」

久保和恵

4月24日(日)

今回はヒマラヤ登山塾番外の映像編でした。私は「世界で一番美しい双耳峰ナンダ・デヴィ」のテーマに心動かされ、またK2はこの目で見てきた経験を呼び戻したく思っただけの参加でした。どちらも重廣氏の著書『ヒマラヤから百名山へ』を読んでいましたが、46年前の映像には登山基地となる内院への困難を極めたキャラバンから雪と氷と岩壁の登攀の様子まで緊迫感がみなぎっていました。そしてBGMで流れていたのは私など愛唱してやまない「いつかある日」のメロディーでした。日本では深田久弥作詞、作曲西前四郎で知られていますが、この原詩は1951(昭和26)年に、ナンダ・デヴィの縦走を目指し、消息を絶ったロジェ・デュブラが作詩したものです。なんだかせつない気持ちになり、生死隣り合わせの極限状態にいる登攀者に思いを馳せました。美しい双耳峰「祝福の女神ナンダ・デヴィ」、女神にも棘があり容易ではなかった縦走、しかし、日・印合同登山隊には祝福を与えてくれ、安堵して見終えました。

著者と語る会講演会

11月19日(土) 14:30～16:30(受付14:00～)

講師：茂木完治氏(日本山岳会関西支部長)

著書：「沢登り読本」(東京新聞出版局)

演題：「世界を沢登りで巡る」

内容：海外の沢登りの先駆者として台湾の沢を開拓。さらに韓国、グアム、ニュージーランド、ヒマラヤの沢へと挑戦は続く。

会場：大阪セルロイド会館3階大会議室

大阪市東成区大今里西2-5-12

参加：無料

申込み・問合せ：豊田哲也

メール：tetsuyatoyota@nifty.com

電話：090-6433-3108

※11月3日(木)迄にメール又は電話でお申込下さい。

K2の記録映像は、以前見た映画「白き氷河の果てに」と重ね合わせました。難関を極めたK2登頂への記録映像は、ノンフィクションの悲喜こもごもの物語があり、何度見ても感動します。忘れられないシーンは8611m、艱難辛苦の末頂上に立たれたときに見られたブロッケン現象です。神がかりのように思えました。

私事ですが、2007年に清瀬祐司氏をリーダーに、9名でコンコルディアからブロードピークBC(4800m)近くまでトレッキングしました。コンコルディアで、北から合流してくるゴッドウィン・オースティン氷河の奥にピラミダルの姿をこの目で捉えたときの印象は今も脳裏に焼き付いています。底辺から天辺まで3000m超えの雪を纏った岩塊、均整の取れた美しさに隠された冷徹さも感じるK2に、果敢に挑んで登頂を極めた登攀の凄さを思ったものです。これらの映像から、後期高齢をよそに、またヒマラヤ山系の展望トレッキングに出かけたい思いが湧いてきました。

【参加者】

新本政子、池尻英明、魚津清和、岡田輝子、小黒節郎、久保和恵、黒田記代、竹中雅幸、薦田佳一、辻 和雄、中村三佳、野村 康、深澤優子、茂木完治、山内幸子(以上関西支部)、吉井 修(首都圏)、根本勇哉(埼玉支部)、他5名 計22名

ヒマラヤ登山塾映像編(Ⅱ)

「1984年カンチェンジュンガ縦走」 「1988年チョモランマ交差縦走」

中村三佳

5月22日(日)

日本山岳会登山隊が世界第3位の高峰、カンチェンジュンガを縦走した記録映像を視聴した。8,000mを超える南峰、中央峰、主峰、西峰を縦走する計画である。登山隊の荷物は21トン、700名のポーターでBCに運ぶ。キャンプ設営時は晴天に恵まれ、荷揚げが順調に進んだが、その一方で、乾燥で喉を傷め、高度順応がうまくいかない隊員もでた。7,800m地点では、只野隊員によるハングライダーの大飛行があった。ハイポーターの負傷や雪崩によるキャンプ倒壊のアクシデントにも見舞われたが、重廣、和田、三谷隊員が南峰から中央峰への縦走を成功させた。

中国・日本・ネパール三国友好登山としてチョモランマ南北交差縦走をした記録映像を視聴した。世界初の交差縦走に加えて、日本テレビによる世界初の山頂からの

衛星中継をする計画である。映像は、三国総隊長の調印から始まった。隊員たちは、日焼けしたパンダ顔で、アイスホールや梯子をかけたクレバスを慎重に渡りながら荷揚げをしていく。隊員283名の中で、アタック隊に選ばれたのは、各国2名ずつ、わずか6名だった。日本は山田隊員が縦走に成功した。山頂からは、隊員の声がかすれて出ない様子や、2坪ほどだという山頂、圧巻の360度の展望が世界に向けて放映された。

2019年秋、グレート・ヒマラヤ・トラバース開始前に実施されたカンチェンジュンガ展望トレッキングで重廣さんとご一緒した。私にとって初めてのヒマラヤで、シッキム側を4,600m近くまで登った。日本とは全く違う標高の山々に囲まれた中を歩き、あまりの迫力に圧倒され続けた。テント場からカンチェンジュンガを仰ぎ見、重廣さんから、あれが懸垂氷河だと教えていただいた。私のデスクトップの画面は、カンチェンジュンガだ。

今回は、重廣さんからの講義はなかったが、臨場感にあふれる映像に、自分も隊員の一人になったような気がした。

【参加者】

新本政子、池尻英明、稲葉 香、魚津清和、賀集 信、小黒節郎、久保和恵、助川 征、竹中雅幸、中川委紀子、中島 隆、中村三佳、野村 康、深澤優子、茂木完治(以上関西支部)、吉井 修(首都圏)、他8名 計24名

第7回ヒマラヤ登山塾

「五大宝蔵の山 カンチェンジュンガ縦走」 竹中雅幸

6月25日(土)

昨年12月の第3回ヒマラヤ登山塾開催時、ほぼ毎回参加されている本部青年部の中谷会員と交流会を行う話が持ち上がり、今年3月の第6回ヒマラヤ登山塾開催時に有志で交流の場を設けた。あいにく天候が悪く予定していたクライミングは行えなかったが、6月には広島支部ユースにも声をかけて若手で集まろうということになった。人が人を呼び最終的には20名弱の希望者が集まり、堡壘岩での交流クライミングとあわせて登山塾に参加することとなった。この過程で交流会向けに時間の調整をしていただき、通常開催(15時~17時)前の12時半から14時半に実施していただくことになった。

今回の舞台はネパール東部に位置しインドのシッキム地方との国境にそびえる世界第3位の高峰、カンチェンジュンガ(8,586m)である。1984年春、日本山岳会とネ

パールとの合同登山隊(鹿野勝彦隊長)が南峰～中央峰～主峰～西峰(別名ヤルン・カン)との全山縦走を目指し、最終的に南峰から中央峰の初縦走と主峰の登頂を成し遂げた。また7,850m地点からのハングライダー飛行に成功し、ハングライダー飛行の高度記録を更新している。

東ネパールといえば2016年、関西支部設立80周年記念事業として行われたナンガマリⅡ峰(6,209m)登山で私自身実際に歩いた場所であり、キャラバン中に訪れた村々など30年前はこんな様子だったのか、と興味深い写真の連続であった。

このカンチェンジュンガ計画は1976年のナンダ・デヴィ縦走に参加した隊員有志が発案したものだったという。8,500m前後という高高度での縦走には登頂隊員とは別にサポート隊員が欠かせないことが、鹿野隊長による総括で触れられている。個人が重視される現代ではこのような大計画を同じように実施することは難しいと思うが、当時、それを可能とするだけのチームの熱量といったものがあつたのではないだろうか。そんな熱い仲間と過ごす時間はきっと素晴らしいものだったのだろうと少し羨ましく感じたのだった。

【参加者】

新本政子、池尻英明、魚津清和、岡田輝子、小黒節郎、助川征、久保和恵、黒田記代、竹中雅幸、辻和雄、中久保忠伸、中島 隆、中村三佳、野村 康、(以上関西支部)、中谷康司、中村淳史、前川晋也、松尾みどり(以上本部青年部)、根本勇哉(埼玉支部)、大野雅樹、勝田直樹、田中明良、吉村千春(以上広島支部)、他4名 計27名

計14名

◆日時：2022(令和4)年5月5日(木)9:30～15:30

参加者：大本孝子、斧田一陽、河野直子、倉谷邦雄、武田壽夫、中川義行、中村賢三、宮本 廣、山田真也

計9名

◆日時：2022(令和4)年5月15日(日)9:30～15:30

参加者：石原順子、大本孝子、斧田一陽、河野直子、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、中川義行、中村俊夫、宮本 廣、山本國夫、兪靖函

計12名

◆日時：2022(令和4)年5月22日(日)9:30～15:30

参加者：猪川 誠、石原順子、大本孝子、斧田一陽、河野直子、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山本國夫、山田真也

計12名

◆日時：2022(令和4)年6月2日(木)9:30～15:30

参加者：猪川 誠、内海宏一、石原順子、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、武田壽夫、中川義行、中村賢三、宮本 廣、(体験1)

計11名

◆日時：2022(令和4)年6月19日(日)9:30～15:30

参加者：猪川 誠、石原順子、斧田一陽、小櫃徹夫、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、中川義行、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山本國夫、兪靖函

計14名

◆日時：2022(令和4)年6月26日(日)9:30～15:30

参加者：石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、中川義行、中村俊夫、宮本 廣、山本國夫

計9名

4. 自然保護委員会活動報告

4～6月

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫

◆日時：2022(令和4)年4月7日(木)9:30～17:00

参加者：石原順子、内海宏一、斧田一陽、倉谷邦雄、河野直子、武田壽夫、竹歳三喜子、中村賢三、中川義行、湊亮、山田真也

計11名

◆日時：2022(令和4)年4月17日(日)9:30～15:30

参加者：石原順子、大本孝子、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、竹歳三喜子、中川義行、中村俊夫、湊亮、茂木完治、山田真也、山本國夫、(体験1)

4～6月

**「東お多福山草原保全・再生研究会」
参加保護活動報告**

田島聖子

◆日時：2022(令和4)年5月18日(水)

参加者：斧田一陽、田島聖子、桐村登美枝

計3名

◎スケッチ同好会◎

【報告】

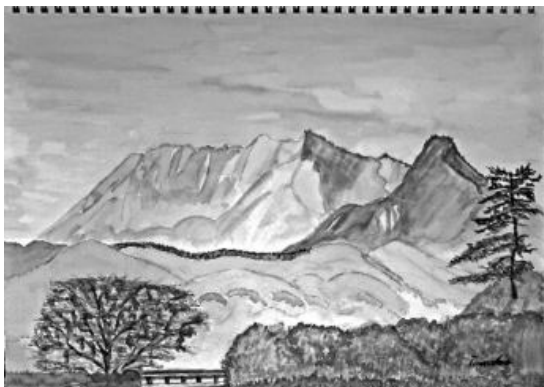
第48回 スケッチ同好会合宿

日 時：5月9日(月)～11日(水)

行 先：蒜山高原

参加者：浦上、岡田、金井、久保、河野、薦田、高木、
田頭、中島、播戸、森澤、横山、岩崎

計13名



大山 高木知子画

第5回：スケッチ同好会展示会

日 時：6月7日(火)～11日(土)

展示会場：大阪駅前第2ビル大阪府生涯学習センター

参加者：横山、嶋岡、助川、高木、田頭、野村、播戸、
松上、宮野、茂木、森澤、岩崎、浦上、岡田、
金井、久保、河野、薦田 計18名



第49回：スケッチ会

日 時：7月11日(月)

場 所：大阪市京橋 藤田邸跡公園及び大川

参加者：横山、嶋岡、高木、野村、播戸、松上、宮野、
岩崎、浦上、岡田、久保、薦田 計12名



藤田邸跡公園 久保和恵

【案内】

第51回

日 時：2022年11月21日(月)

行 先：信貴山・朝護孫子寺

集 合：JR大和路線「王寺駅」西改札口 午前10時

申 込：11月14日までに連絡下さい。

播戸日出生 (携帯)090-5242-4880

(E-mail)hbando4212@gmail.com

備 考：雨天中止(参加者には前日に連絡)

2022年10月～12月 山行委員会行事案内

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

22-42 月例会(10月)

「湖北・金糞岳1317mを下る」

日 時：10月2日(日)前夜発(車利用のため定員あり)
 コース：鳥越峠～金糞岳～白倉岳～花房尾～奥山～高山
 申込み：9月23日(金)迄(担当：水谷 透)

22-43 沢登り例会

「往古川真砂谷」

日 時：10月8日(土)～10日(月・祝)
 コース：詳細は申込者に個別連絡します。
 申込み：9月23日(金)迄(担当：中久保忠伸)

22-44 第18回山岳古道調査

「金剛山第21経塚・大タワ地藏第22経塚」

日 時：10月15日(土)近鉄御所駅9:00集合
 コース：近鉄御所駅～葛城水分神社～大タワ地藏第22
 経塚～朝原寺跡～湧出岳第21経塚～金剛登山
 口
 申込み：10月5日(水)迄(担当：永井 和)

22-45 第13回関西のアルプス踏査

「神戸アルプス」

日 時：10月16日(日)鈴蘭台駅集合 詳細は申込者に
 個別に連絡します。
 コース：駅～菊水山～神戸アルプス～鍋蓋山～再度山
 ～堂徳山
 申込み：10月9日(日)迄(担当：小黒節郎)

22-46 ゆるやか山行 歴史と文化を訪ねて

「西山三山」(西山古道)

日 時：10月20日(木)阪急長岡天神駅8:30集合
 コース：阪急長岡天神駅～光明寺～柳谷観音～善峯寺
 申込み：10月13日(木)迄(担当：久保和恵)

22-47 クライミング初級

「六甲・蓬莱峡」

日 時：10月27日(木)阪急宝塚駅8:30集合

申込み：10月23日(日)迄(担当：江村俊也)

22-48 第19回山岳古道調査

「葛城古道櫛羅第23経塚・吉祥草寺」

日 時：10月29日(土)近鉄御所駅10:00集合
 コース：近鉄御所駅～葛城一言主神社～九品寺～櫛羅
 第23経塚～くじらの滝～吉祥草寺～和歌山線
 玉手駅

申込み：10月19日(水)迄(担当：永井 和)

22-49 沢登り例会

「三ノ公明神谷～馬の鞍谷」

日 時：11月5日(土)
 コース：詳細は申込者に個別連絡します。
 申込み：10月28日(金)迄(担当：中久保忠伸)

22-50 月例会(11月)

「丹生山系を巡る」

日 時：11月6日(日)箕谷駅8:20集合
 コース：コウモリ谷～シビレ山～丹生山～義経道
 申込み：10月28日(金)迄(担当：野村 康)

「山行ひろば」開催案内

11月30日(水)

支部ルーム18:30～20:30

(ネットでも同時開催、希望者は茂木完治まで)

「山行ひろば」報告

5月25日(水)18:30～20:30

ネットで実施しました。

【出席者】茂木完治、豊田哲也、中久保忠伸、

辻和雄、黒田記代

5名

22-51 第14回関西のアルプス踏査

「三草アルプス」

日 時：11月12日(土)JR加古川線滝野駅8:43集合

コース：駅～(タクシー)山口登山口～数曾寺跡～大坂山～数曾寺谷～山口登山口～滝野駅

申込み：11月5日(土)迄(担当：小黒節郎)

22-52 ゆるやか山行 歴史と文化を訪ねて

「小倉山 296m」

日 時：11月17日(木)阪急嵐山駅9時30分

コース：阪急嵐山駅～小倉山～清滝不動院～阪急嵐山駅

申込み：11月10日(木)迄(担当：久保和恵)

22-53 わんぱく探検

「五月山(千代山314.9m)」

日 時：11月23日(水・祝)阪急池田駅9:30集合

対 象：一般の親子(幼稚園～小学生)、会員会友

申込み：11月3日(木)迄(担当：豊田哲也)

22-54 クライミング初級

「六甲・蓬莱峡」

日 時：11月24日(木)阪急宝塚駅8:30集合

申込み：11月20日(日)迄(担当：江村俊也)

22-55 六甲山を歩く

「信仰の道を歩く」

日 時：11月26日(土) 詳細は申込者に個別に連絡します。

コース：神鉄六甲駅～古寺山～シュラインロード～アイロード～阪急六甲駅

申込み：11月19日(土)迄(担当：松仲史朗)

22-56 第20回山岳古道調査

「平石峠第24経塚・高貴寺第25経塚」

日 時：11月27日(日)近鉄新庄駅9:20集合

コース：近鉄新庄駅～布施城跡～岩橋峠～岩橋山～高貴寺第25経塚～平石峠第24経塚～当麻寺～当麻寺駅

申込み：11月17日(木)迄(担当：永井 和)

22-57 沢登り例会

「モジキ谷」

日 時：12月3日(土)

コース：詳細は申込者に個別連絡します。

申込み：11月25日(金)迄(担当：中久保忠伸)

22-58 月例会(12月)

「新人歓迎&忘年山行」

日 時：12月4日(日) 詳細は申込者に個別に連絡します。

コース：ロープウェイ前～文珠尾～金剛山山頂広場～

ちはや園地～念仏坂～ロープウェイ前

申込み：11月24日(木)迄(担当：黒田記代)

22-59 第15回関西のアルプス踏査

「用瀬アルプス」

日 時：12月10日(土)牛臥山～海上山～(智頭泊)

12月11日(日)洗足山～おおなる山～三角山

10日もしくは11日のみの参加も可。詳細は申込者に個別に連絡します。

申込み：12月3日(土)迄(担当：重廣恒夫)

22-60 道迷い講習会

「JR道場駅周辺の山」

講 師：青山千影(山岳遭難研究者)

日 時：12月11日(日)JR道場駅9時集合

装 備：日帰り登山装備、プレートコンパス、鉛筆、A4用クリップボード、20cm以上の物差、地図、軍手

申込み：12月4日(日)迄(担当：茂木完治)

22-61 ゆるやか山行 歴史と文化を訪ねて

「明神山273m」

日 時：12月15日(木)9時集合

コース：JR高井田駅～関谷地藏～明神山～JR三郷駅

申込み：12月8日(木)迄(担当：久保和恵)

22-62 第21回山岳古道調査

「二上山第26経塚・逢坂第27経塚」

日 時：12月17日(土)近鉄当麻寺駅9:05集合

コース：近鉄当麻寺駅～当麻寺～岩屋峠～雌岳～雄岳第26経塚～穴虫峠～どんづる峰～大坂山口神社～二上駅

申込み：12月7日(水)迄(担当：永井 和)

22-63 クライミング初級

「六甲・蓬莱峡」

日 時：12月22日(木)阪急宝塚駅8:30集合

申込み：12月18日(日)迄(担当：江村俊也)

22-64 第11回ヒマラヤ登山塾

「世界初の挑戦マカルー東稜」

日 時：12月25日(日)15:00～17:00

場 所：大阪梅田第2ビルB4(ロジック大阪店地下)

申込み：12月18日(日)迄(担当：重廣恒夫)

申込み先一覧

江村俊也	tobi.osaka@me.com
小黒節郎	setsuro.oguro@nifty.com
久保和恵	uncletorys05-kazu@nifty.com
黒田記代	kuroda2822@kcn.jp
重廣恒夫	tsuneo.shigehiro@outlook.com
豊田哲也	tetsuyatoyota@nifty.com
永井 和	nagai.kazu@gmail.com
中久保忠伸	tadanobu3772822@gmail.com
野村 康	n0mura87.32@nifty.com
松仲史朗	mgjqk966@ybb.ne.jp
水谷 透	jacmztn@yahoo.co.jp
茂木完治	yib03510@nifty.com
関西支部	kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

- ・中級(初歩の沢歩き、岩場の通過と登攀具の使用)
10月1日(土) 高槻市営バス出灰BS～不動岩左俣～ポン山～本山寺古道～神峰山口BS
11月13日(日) 葛城登山口～石ブテ谷～セト～青崩道～葛城登山口
- ・上級(初歩の岩登り)
10月6日(木) 京都北山・金毘羅
11月17日(木) 京都北山・金毘羅
- ・登山教室座学 12月8日(木)

リーダー養成講習会

12月18日(日) 実技(屋内)
開催時間：15:00～17:00
開催場所：大阪梅田第2ビルB4
(ロジ大阪店地下)
申込み：12月11日(日)迄(担当：重廣恒夫)

報告

5月29日(日)
座学：「指導者・リーダーの役割、登山に係る法律問題、テーピングの基礎」

講師：重廣恒夫

【参加者】

豊田哲也、中久保忠伸、小黒節郎、黒田記代、柴田美生子、永井 和、野村 康、前田正憲、松仲史朗、坂本明子、中村三佳、深澤優子、上森文子 計13名

ステップアップ登山教室 一般募集

(会員・準会員・会友も参加可能)

受講料：1回1,500円

※詳細については関西支部ホームページをご覧ください。

・初級(登山に必要な知識・技術・体力養成)

- 10月2日(日) 樫田校前BS～明智丘道～金毘羅山～高ヶ尾山～萩谷～上ノ口BS
- 11月20日(日) 近鉄服部川～おと越～十三峠～高安山～黒谷道～近鉄信貴山口

2022年10～12月 自然保護行事案内

1. 「日本山岳会関西支部本山寺山の森」森づくり活動

(本山寺山森林づくりの会の活動)

活動日：10/6(木)、10/16(日)、10/27(木)、11/3(木)、11/10(木)、11/20(日)、12/1(木)、12/11(日)、12/18(日)

集 合：JR京都線高槻駅北アルプラザ前 8時40分

●作業体験、森林観察、入会歓迎です

2. 東おたふく山ススキ草原復元活動(東お多福山草原保全・再生研究会活動)

活動日：11月19日(土)、12月10日(土)

集 合：JR神戸線芦屋駅南口 8時30分

3. 森林観察会

●本山寺山の森観察・体験参加・見学

期日・集合は本山寺山森林づくりの会活動日と同じ

●東お多福山観察会

期 日：10/15(土)、11/24(木)、12/17(土)

集 合：東お多福山登山口バス停 9時

問い合わせ・申込み先

斧田一陽(全般)

☎/FAX072-633-6556、090-4037-4542

武田壽夫(本山寺山の森)

☎090-2042-9101

但馬聖子(東おたふく山)

☎078-411-3837

締切：開催日の2週間前まで

[山岳雑誌] 山と人、時代をつなぐ **岳人**

特別
編集

秋山 2022 発売中

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

▶ 年間購読がおすすめ

購読割引

送料無料

限定品プレゼント

通常価格
12冊

10,560円(税抜) →
11,616円(税込)

年間購読
12冊

9,680円(税抜)
10,648円(税込)

1冊分
おトク!



価格:968円(税込)

年間購読のお申し込みはこちらから!▶▶

<https://www.gakujin.jp/>



全国の
モンベルストア
でも受付中!

お問い合わせ
モンベルポスト



0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

BLUE ICE

ベストセラーのアルパイン
パックが約30%の軽量化
されフルリニューアル。

- 素材: 210d Robicナイロン
- 背面長: 2サイズ展開(S/M、M/L)
- 重量: 630g

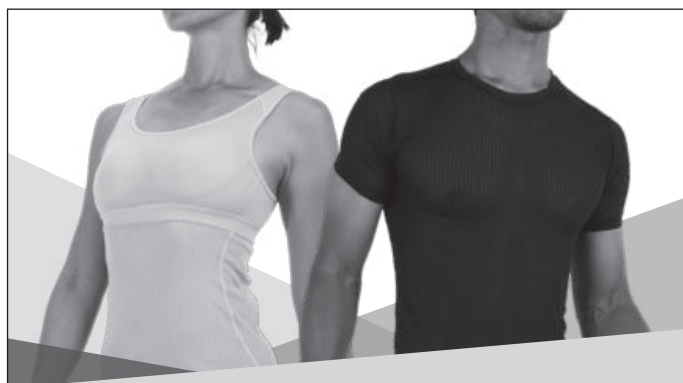
※容量は30Lほか、40Lもございます。

WARTHOG 30L
ワーソッグ 30L

¥27,280(税込)



輸入元:(株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788



この1枚が、登山を変える。

DRY LAYER®

finetrack®

ドライレイヤー 検索

〈編集後記〉

☆夏休暇、2年ぶりの3千メートル峰、槍穂を縦走しに行きました。しかし強風に阻まれ、大キレットに進めず南岳から下りました。上高地で時間があったので、初めて山岳研究所を訪ね、見学させて頂きました。なんて素晴らしい所にあるのでしょうか。これまで利用しなかったなんて。縦走できず残念な気持ちが一気に吹き飛び、次の上高地経由山行に思いをめぐらせています。(中村三佳)

第189号 2022(令和4)年9月10日 発行

発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22

梅田東ビル 3階 304号室

公益社団法人 日本山岳会関西支部

e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

郵便振替口座 00930-6-55950

発行者 茂木完治

編集 加藤芳樹 中村三佳

制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。

IWATANI-PRIMUS

イワタニ・プリムス株式会社

www.iwatani-primus.co.jp

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20